

# 弘前大学学報



平成25年度秋季学位記授与式

第 114 号  
平成25年 9月号

**学内ニュース**

○平成25年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季学位記授与式	-----	1
○平成25年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季学位記授与式告辞 弘前大学長 佐藤 敬	-----	2
○緊急被ばく医療人材育成プロジェクト「現職者研修」を開催	-----	4
○2013年度弘前大学シニアサマーカレッジを実施	-----	5
○弘前大学男女共同参画推進室 第6回講演会を開催	-----	6
○アメリカのメイン州立大学を表敬訪問	-----	7
○「弘前大学高大連携公開講座修了証書授与式」を実施	-----	8
○「第8回学生相談を考える会」を開催	-----	9
○平成25年度第2回弘前大学科研費獲得スキル向上セミナーを開催	-----	10
○平成25年度弘前大学科研費説明会を開催	-----	11

<b>諸 会 議</b>	-----	12
--------------	-------	----

**人 事**

○人事異動	-----	15
-------	-------	----

<b>主要日誌</b>	-----	17
-------------	-------	----

<b>学内規則</b>	-----	18
-------------	-------	----

## 平成25年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季学位記授与式

平成25年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季学位記授与式が9月30日（月）、事務局3階大会議室において行われ、35名に学位記が授与されました。

平成25年度秋季の学位記授与者内訳は、次のとおりです。

### ○学士学位記授与者

人文学部	3名
教育学部	4名
医学部保健学科	5名
理工学部	5名
農学生命科学部	3名

### ○修士学位記授与者

教育学研究科	1名
理工学研究科（博士前期課程）	1名
農学生命科学研究科	1名

### ○博士学位記授与者

医学研究科	10名
医学研究科（学位論文提出者）	1名
地域社会研究科	1名

合 計

35名



佐藤学長より学位記を授与される卒業生



卒業生、修了者の様子

---

## 平成25年度 弘前大学及び弘前大学大学院秋季学位記授与式 告 辞



厳しい残暑の季節もようやく去って、弘前にもさわやかな秋の気配が感じられるようになりました。そんな中、本日ここ弘前大学事務局大会議室において、平成二十五年秋季学位記授与式を挙げるにあたって、告辞を述べさせていただくことは私にとって大きな喜びとするところであります。

まずもって、この度、学位を取得し、大学を卒業される皆さん、あるいは大学院を修了される皆さんに心よりお祝いを申し上げます。皆さん、おめでとうございます。

現在、国立大学をはじめ、我が国の大学に対する社会からの期待は大いに高まっていると言われていると思いますが、基本的には、皆さんが、どのような人材として、どのように社会で活躍するかが重要であり、そしてそのために、大学としてはどのような教育・研究活動を実施すべきなのかが問われているものと考えます。したがって、学位を得て社会に飛び立とうとしている今日の日、皆さんは、社会への貢献を改めて決意していただくよう願っています。そのことは、取りも直さず皆さん自身が、充実した人生を送ることにつながるものでもあります。

そのために、今後皆さんが取り組まなければならないことは何かを是非考えていただきたいと思っております。もちろん、それぞれの専門分野の仕事に関して十分な知識や技術などを、早急に習得し、さらなる発展・向上を目指すことの重要性に疑いはありません。しかし、それにとどまらず、自らの教養を高める努力を続けていただきたいと、願っています。皆さんは、それぞれの出身大学において教養教育を受けて来られたことと推察します。弘前大学においても、「21世紀教育」と銘打って、1・2年次を中心に教養教育を実施しています。しかし、教養教育は1年や2年で成就するものではなく、私たちは、一生をかけても自らの教養を育むことを終えられないと言っても過言ではありません。また、自分の専門領域の知識や技術などを高めることも教養の一部と言ってもよいかもしれませんが、しかし重要な点は、自らの専門に関する努力は容易にできるかもしれませんが、それにとらわれず、広い範囲の知識や考え方を身に付けることが、専門的能力を活かしていくためにも必要であることを銘記して頂きたいと思っております。

したがって、皆さんにとっての学問の日々は今日をもって終わる訳ではないことを、改めて強く意識していただき、そして、皆さんがこれまで学んで来たことが今後の指針となって活かされるように望んでいます。

我が国の現状を考える時、アベノミクスの通称で表現される経済政策によって、確かに世間は明るさを取り戻しているかのようです。しかし、社会の真の発展のためには、われわれ国民一人ひとりが、なすべき社会貢献を最大限に実現する努力が常に求められているものと考えます。皆さんには、高度の専門教育と教養教育の成果をもって、我が国の輝かしい未来を実現していくため、社会のリーダーの一人としての自覚を忘れることなく活躍していただくことが必要です。

また、今や私たちの日々の生活そのものが世界と直結する時代になりました。例え皆さんの活躍の場が海外や我が国の中央ではないとしても、世界的な視点をもって仕事をする必要が



---

ず求められます。外国語をはじめとするコミュニケーション能力の鍛錬は今後も続けることが可能ではないでしょうか。どうか、身の回りの事柄のみにとらわれることなく、広い視野をもって、社会で活躍して下さい。弘前大学は教育・研究活動の国際化を一つの目標に据えてきましたが、その成果がいまだ皆さんには十分届いていないかもしれません。しかし、世界的な視点を磨くよう引き続き努力することは可能ではないでしょうか。その点においても、今日をもって皆さんの学問が終わるのではないことを忘れないでいただきたいと思います。

終わりに、皆さんは、今日までの長い年月にわたって学び続けることのできた幸福を今一度思い出していただきたいと思います。私は、そのことについて、皆さん自身の努力を大いに称えるものですが、皆さんのご家族やこれまでお世話になった学校・大学の教職員、そして社会全体に対する感謝を新たに、今後の努力の糧としてくださるようお願いいたします。そしてなにより、本日、学位を取得された皆さんの、今後のご健康とご多幸を心からお祈りするとともに、皆さんの未来が輝かしいものになることを期待して、平成二十五年度の秋季学位記授与式にあたっての告辞と致します。

平成25年9月30日

弘前大学長 佐藤 敬



## 緊急被ばく医療人材育成プロジェクト「現職者研修」を開催

本学大学院保健学研究科では、全国の医療施設に勤務する看護職者及び診療放射線技師を対象とした、緊急被ばく医療人材育成プロジェクト「現職者研修」を開催しました。

同研究科では、多くの原子力関連事業所が集中している青森県における被ばく事故に対する安全、安心の確保、原子力関連企業従事者の医療リスク管理システムの構築及び被ばく医療に対応できるコ・メディカルスタッフの養成を目指し、平成19年度から緊急被ばく医療人材育成の取組みを開始し、緊急被ばく医療人材の育成や体制の整備を進めています。

現職者研修は、緊急被ばく医療に必要な知識を習得、連携・協働しながら、適切な対応かつ安全管理ができる医療職者を育成することを目的とし、平成22年度から開催しているもので、4回目の開催となる今年度は、看護職コースと診療放射線技師コースを8月31日、9月1日の2日間の日程で開催し、青森県内と北海道、京都、島根から合わせて18名が受講しました。

昨年度までは3日間の日程で開催していましたが、今回からパソコンを利用した事前学習「eラーニング」に講義の一部を取り入れました。また、福島県立医科大学災害医療総合学習センターの熊谷敦史副センター長に「福島の現状」について講演していただくとともに、演習に対するアドバイスやコメントを得て理解を深める内容としました。

研修では、緊急被ばく医療の原則やサーベイメータの取り扱い等について、福島第一原子力発電所事故直後に派遣した弘前大学被ばく状況調査チームやその他の教職員が実際に現地で行った活動内容を盛り込んだ講義、演習が行われました。2日目に実施した緊急被ばくシミュレーション演習では、『同研究科基礎・成人看護学実習室内に管理区域を設定し、原子力発電所の原子炉建屋内でトラブルの修復作業中に、2名の作業員が暑さに耐えきれずにマスクを外し、体調が悪くなり転倒。下腿部を挫傷し汚染の可能性のある』という想定で、汚染を伴う傷病者の搬入から一般病室への退室までの一連の流れについて実践しました。受講生らは処置室の汚染管理を行うとともに、防護服を着用し、処置室の線量測定や創傷汚染の除染、創傷処置など一連の作業に取り組み、緊急被ばく医療への対応について学びました。



緊急被ばく医療シミュレーション演習の様子



サーベイメータ取り扱い演習の様子

## 2013年度弘前大学シニアサマーカレッジを実施

2013年度弘前大学シニアサマーカレッジが、9月8日（日）から13日（金）までの6日間にわたり実施されました。これは、平成18年度から連続して開講しており、今年度で第8回目の開講となりました。

今年度は、「りんご色の休日～津軽で学ぶ～」をテーマに、世界自然遺産登録20周年を迎えた白神山地や弘前市が舞台となった映画「奇跡のリンゴ」、青森県出身の小説家 太宰 治などを主とした講義を中心に、3つのコースを設定し開講しました。

初日は、開講に先立つ入学式において、主催者側から佐藤学長及び共同主催の公益社団法人弘前観光コンベンション協会の清藤協会長の挨拶の後、後援側である青森県から高坂国際観光政略局次長、及び弘前市長代理として観光振興部の赤石観光政策課長から挨拶をいただきました。

また、同日は講義の後にウェルカムパーティーを行い、佐藤学長をはじめ本カレッジ講師の方々、スタッフらと受講生が親睦を深めました。

本カレッジには、全コース合わせて青森県以外から延べ48名、県内から同23名の計71名の受講生が集まり、青森県の自然や歴史、文化に触れ、心身をリフレッシュさせた様子でした。

本学では、来年度もシニアサマーカレッジの開講を予定しています。



入学式にて挨拶する佐藤学長



縄文式土器を見ながら講義を受ける受講生



「奇跡のリンゴ」木村秋則さんによる講義



白神山地トレッキングでブナ林の説明を受ける受講生



---

## 弘前大学男女共同参画推進室 第6回講演会を開催

本学男女共同参画推進室は、学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアムと共催で、9月17日（火）、創立60周年記念会館 コラボ弘大 八甲田ホールにおいて第6回講演会「地域連携による男女共同参画の推進～三重県内を中心とした事例紹介～」を開催しました。

講師には、三重県教育委員会などに長年勤務され、現在も地域連携を中心とした数々の男女共同参画プロジェクトでご活躍中である、三重大学学長アドバイザーの鈴山雅子先生をお迎えしました。

鈴山先生からは、今まで三重大学と三重県内の自治体が連携して取り組んできた事業やイベントなどが紹介され、「地域連携の中で大学の役割は地域を”つなげる”ことであり、大学が声をかければ地域の方々も協力して参加して下さる」というお話に、参加者一同がうなずいていました。

また、講演会終了後に行われたフリーディスカッション「さんかくカフェ」では、コンソーシアム構成大学教職員のほか、市民の方も加わり「親しみやすい、敷居の高くない大学にするには?」、「理系女子を増やすには?」などの質問に対して、予定終了時間をオーバーするほど熱心な議論がなされました。



鈴山先生による講演の様子



「さんかくカフェ」にて挨拶する日景男女共同参画推進室長



## アメリカのメイン州立大学を表敬訪問

9月17日（火）、佐藤学長が、本学の学術交流締結校であるアメリカのメイン州立大学を表敬訪問し、PAUL.W.FERGUSON学長と、今後の両大学における様々な交流をさらに活発に行うこと等について懇談しました。また、国際交流担当者と留学生の派遣・受入の推進等について、自然科学、森林学、農学、海洋科学の教員と今後の学術連携等について意見交換を行いました。午後には、本学から留学している日本人学生や本学に留学していた地元の学生と共に、キャンパスツアーを行いました。

佐藤学長は、メイン州立大学において9月16日（月）から2日間にわたって開催された「第2回海洋エネルギー国際シンポジウム」にも出席し、開会にあたってスピーチを行いました。

なお、「第2回海洋エネルギー国際シンポジウム」には本学の北日本新エネルギー研究所からも数名の教員が出席し、それぞれの研究内容について発表を行い、その様子は現地の新聞にも大きく取り上げられるなど、海洋エネルギーに対する関心の高さをうかがうことができました。



意見交換の様子



キャンパス内の様子

## 「弘前大学高大連携公開講座修了証書授与式」を実施

本学では、9月20日（金）、総合教育棟共用会議室にて、平成25年度前期「高大連携公開講座修了証書授与式」を実施しました。

今回の授与者は、青森県立弘前高等学校から2名、青森県立弘前南高等学校から5名、青森県立弘前工業高等学校から1名、弘前学院聖愛高等学校から2名、東奥義塾高等学校から2名の計12名となりました。授与式には、受講生12名のほか、中根理事（教育担当）並びに当該高等学校長等が出席し、中根理事から受講生一人ひとりに修了証書が手渡されました。

これを受けて、受講生を代表し青森県立弘前工業高等学校の佐々木浩二さんから挨拶があり、続いて高等学校を代表して弘前工業高等学校 豊島校長から挨拶が述べられ、授与式は終了しました。

授与式終了後には、中根理事と受講生との懇談会が行われ、受講生からは高等学校の授業と大学の講義との違いについて感想が述べられるなど、終始和やかな雰囲気での歓談となりました。



中根理事から修了証書を授与される受講者



受講者と中根理事による懇談会

## 「第8回学生相談を考える会」を開催

9月24日（火）、学生相談に携わる学内外の教職員を対象にした「第8回学生相談を考える会」を開催しました。同会は多様化・複雑化する学生相談に適切に対応し、学生の支援体制を充実させようと平成20年度から開催しており、今回で8回目の開催となりました。

今回の考える会では、教育学部教授であり、弘前大学附属特別支援学校長でもある松本敏治先生から「発達障害について」の情報提供の後、本学の学生や卒業生等で発達障害と診断された当事者が松本先生の質問に答える形での発表がありました。

当事者からは、「ひらがなは1歳位で読め、4歳頃までにはカタカナも読み書きできた」、「数字にこだわりがあり、小学校等の同級生の生年月日を今でも全て覚えている」、「地図帳が好きで地名を覚えるのが得意だった」などの没頭する特性の一方で、学生生活では「レポートを書くのが困難」、「長い文章は理解しにくい」、「集中力が持続しない」などの特性も持ち合わせており、なんでも相談等の窓口は知っているが、実際には相談しにくいなどの意見が出されました。

近隣の秋田大学、北里大学、八戸工業大学など5校の参加者を含め約60人の教職員が参加し、「発達障害」学生に対する認知を深め、その対応方法等を探りました。



会場の様子



---

## 平成25年度第2回弘前大学科研費獲得スキル向上セミナーを開催

平成26年度科研費公募に先立ち、科研費採択率向上を目的とした第2回科研費獲得スキル向上セミナーを、9月26日（木）、弘前大学医学部臨床大講義室で行いました。

本セミナーでは、「科研費獲得の方法とコツ」（羊土社）の著者としてお馴染みの、久留米大学教授 児島 将康 氏をお招きし、「採択されるための科研費申請書の要点」と題して、科研費の採択率向上へと繋がる研究計画調書の効果的な作成方法について講演いただきました。

当日は弘前大学教職員合わせて140名の参加があり、8月に開催された第1回目のセミナーに引き続き、盛会となりました。セミナーでは、実際の研究計画調書が配付され、改善点やポイントなどについて講師、参加者が共に考えるなど、活発な意見交換が行われ、研究計画調書を作成する上での考え方について学ぶ良い機会となりました。



児島教授による講演の様子



会場の様子

## 平成25年度弘前大学科研費説明会を開催

9月30日（月）、文京町キャンパスと本町キャンパスの2会場で、科研費説明会が開催されました。本説明会は、科研費制度の理解を深め、研究活動のより一層の推進・充実及び採択率の向上を図ることを目的として開催され、近隣の「学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム」を構成する大学（東北女子大学、弘前学院大学、東北女子短期大学、弘前医療福祉大学）の教職員、（地独）青森県産業技術センター弘前地域研究所の研究者にも参加を呼びかけ、本学のみならず、県内の研究機関における研究活動の発展を図るものです。

はじめに、加藤理事（研究担当）より、「全国的にも科研費を始めとする外部資金獲得のさまざまな取組みが行われており、本学においても、アカデミック・チェックの充実や獲得スキル向上セミナーの開催など、採択率や質の向上を目指した取組みに力を入れてきました。こういった取組みを通して、採択額（直接経費）の目標額を達成できるようご協力いただきたい。」との挨拶がありました。

文京町キャンパスでは、農学生命科学部 杉山 修一 教授及び理工学研究科 阿部 敏之 教授が、本町キャンパスでは、医学研究科 澤村 大輔 教授及び保健学研究科 野坂 大喜 講師が、それぞれの経験をもとにした独自の科研費採択状況の分析や研究計画調書の書き方などについてわかりやすく講演しました。また、2会場ともに、研究推進部研究推進課から平成26年度公募等について、財務部財務企画課から科研費の不正使用等について説明がありました。

当日は、学内外の教職員など200名を超える参加者があり、参加者らは熱心に講演に耳を傾け、メモをとるなどして、今後の科研費申請に向けたモチベーションを高める良い機会となり、科研費採択率向上を図る上で大変有意義な説明会となりました。



加藤理事による挨拶



杉山教授による講演の様子



熱心に聞き入る参加者

---

## ■ 諸 会 議

### ▼役員会

9月 2日（月）

#### 審議事項

- 1 国際連携本部教員（教授）の選考について
- 2 学内諸規則の一部改正について
  - (1) 弘前大学学則の一部改正について
  - (2) 弘前大学国際交流科目履修規程の一部改正について
  - (3) 国立大学法人弘前大学職員の懲戒等に関する規程及び国立大学法人弘前大学職員懲戒等委員会規程の一部改正について
  - (4) 弘前大学医学部規程の一部改正について
- 3 海外拠点の設置について
- 4 平成25年度弘前大学組織評価の実施について
- 5 弘前大学「HIROSAKI はやぶさカレッジ」細則の制定について
- 6 推薦入試I合格者の入学前交流プログラムについて
- 7 平成26年度科研費申請の基本方針について
- 8 寄附講座の設置について

#### 報告事項

- 1 平成24事業年度に係る業務の実績に関するヒアリングについて
- 2 平成25年度「地（知）の拠点整備事業（COC事業）」の選定結果について
- 3 大学院入試における試験問題の不適切な取扱いについて
- 4 オープンキャンパスの実施結果について
- 5 革新的イノベーション創出プログラム（COISTREAM）の拠点提案について
- 6 平成25年度弘前大学機関研究の選考結果について
- 7 平成25年度弘前大学若手研究者支援事業の選考結果について
- 8 平成26年度弘前大学国際シンポジウム助成事業の選考結果について
- 9 平成25年度第2回弘前大学科研費獲得スキル向上セミナー及び平成25年度弘前大学科研費説明会の開催について
- 10 弘前大学男女共同参画推進室 第6回講演会「地域連携による男女共同参画の推進」の開催について
- 11 平成26年度概算要求について

9月30日（月）

#### 審議事項

- 1 学内諸規則の一部改正について
  - (1) 弘前大学学則の一部改正について
  - (2) 弘前大学国際交流科目履修規程の一部改正について
  - (3) 弘前大学医学部規程の一部改正について
- 2 海外拠点の設置について
- 3 弘前大学「HIROSAKI はやぶさカレッジ」細則の制定について
- 4 寄附講座の設置について
- 5 弘前大学コスト削減計画（案）について

#### 報告事項

- 1 防止計画推進部署の活動展開について
- 2 平成25年度協定校研究者交流について
- 3 「環境報告書2013」について
- 4 2013年度弘前大学シニアサマーカレッジについて
- 5 学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム平成25年度「共通授業」の開催について
- 6 白神山地世界自然遺産登録20周年記念シンポジウムについて



---

▼教育研究評議会

9月10日（火）

審議事項

- 1 学内諸規則等の一部改正について
  - (1) 弘前大学学則の一部改正について
  - (2) 弘前大学国際交流科目履修規程の一部改正について
  - (3) 国立大学法人弘前大学職員の懲戒等に関する規程及び国立大学法人弘前大学職員懲戒等委員会規程の一部改正について
  - (4) 弘前大学医学部規程の一部改正について
- 2 海外拠点の設置について
- 3 弘前大学「HIROSAKI はやぶさカレッジ」細則の制定について
- 4 寄附講座の設置について
- 5 教育研究組織の再編について

報告事項

- 1 教員の人事について
  - (1) 教員の採用・昇任
- 2 大学院入試における試験問題の不適切な取扱いについて
- 3 推薦入試 I 合格者の入学前交流プログラムについて
- 4 オープンキャンパスの実施結果について
- 5 シラバスの記入について
- 6 平成26年度科研費申請の基本方針について
- 7 平成25年度弘前大学機関研究の選考結果について
- 8 平成25年度科研費獲得支援事業の決定について
- 9 平成25年度弘前大学若手研究者支援事業の選考結果について
- 10 平成26年度弘前大学国際シンポジウム助成事業の選考結果について
- 11 平成25年度北東北国立3大学連携推進研究プロジェクトの決定について
- 12 平成25年度第2回弘前大学科研費獲得スキル向上セミナー及び平成25年度弘前大学科研費説明会の開催について
- 13 委員会等報告
  - (1) 教員推進機構会議
  - (2) 教育委員会（紙上）
  - (3) 21世紀教育センター運営委員会
  - (4) 研究委員会

▼教育委員会

9月25日（水）

審議事項

- 1 弘前大学学生の懲戒処分に関する規程の改正について
- 2 弘前大学学生表彰実施要項の見直しについて
- 3 卓越した学生に対する授業料免除者の選考について

報告事項

- 1 平成25年度前期「学生による授業評価アンケート」実施結果について
  - 2 平成25年度後期「弘前大学高大連携公開講座」受講者について
  - 3 第8回学生相談を考える会について
  - 4 平成25年度後期授業料の延納・分納について
  - 5 平成25年度日本学生支援機構奨学生追加推薦状況について
  - 6 学長表彰（Distinguished students 賞）について
-

---

▼研究委員会

9月19日（火）

報告事項

- 1 平成25年度研究委員会委員の変更について
- 2 平成26年度科研費申請の基本方針について
- 3 平成25年度弘前大学機関研究の選考結果について
- 4 平成25年度弘前大学若手研究者支援事業の選考結果について
- 5 平成26年度弘前大学国際シンポジウム助成事業の選考結果について
- 6 平成25年度第2回弘前大学科研費獲得スキル向上セミナーの開催について
- 7 平成25年度弘前大学科研費説明会の開催について
- 8 平成25年度弘前大学学術特別賞の公募結果について
- 9 寄附講座の設置について
- 10 地域共同研究センター運営委員会の報告について

# 人 事 異 動

## [採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年9月1日		八木橋 龍亮	一般職員(総務・人事)
平成25年9月1日		会津 瑞希	一般職員(学務・教務)
平成25年9月1日		松田 侑子	講師(教育)
平成25年9月1日		鈴木 愛理	講師(教育)
平成25年9月1日		平井 吾門	講師(教育)
平成25年9月1日		嘉山 恵子	看護師(保管)
平成25年9月16日		川口 麻美	看護師(病院)
平成25年9月16日		三上 啓二郎	看護師(病院)
平成25年9月16日		高杉 生野	看護師(病院)
平成25年9月16日		八木澤 紀子	看護師(病院)

## [配置換]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年9月1日	主任(保)	小野 可奈子	主任(附小)
平成25年9月1日	主任(総務・人事)	木村 麻子	主任(保)
平成25年9月1日	助教(医)	工藤 孝志	助教(病院)

## [命]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年9月1日	教授(医)	廣田 和美	集中治療部長 [H26.8.31]

## [休職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年9月1日	係長(医)	森 幸彦	職務復帰
平成25年9月1日	一般職員(総務・人事)	福士 雅之	休職延長 [H25.11.30まで]

## [育児休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年9月1日	看護師(病院)	今井 育実	職務復帰
平成25年9月6日	助教(医)	佐藤 江里	育児休業開始 [H26.3.31まで]



発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年9月15日	係長(学務・学生)	工藤 理砂子	育児休業開始 [H27.8.31まで]
平成25年9月25日	看護師(病院)	渋谷 江梨奈	育児休業開始 [H26.3.31まで]

**[離職]**

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年9月30日	係長(施設・施企)	成田 明	辞職
平成25年9月30日	任期付職員(研推・社会)	秋庭 由香子	辞職
平成25年9月30日	任期付職員(理工)	阿部 康子	辞職
平成25年9月30日	看護師(病院)	蒔苗 みゆき	辞職
平成25年9月30日	教授(医)	新川 秀一	辞職
平成25年9月30日	准教授(国際)	S E R A G A D A M	辞職
平成25年9月30日	准教授(人文)	日野 辰哉	辞職
平成25年9月30日	准教授(医)	松原 悦朗	辞職
平成25年9月30日	助教(医)	長内 理大	辞職
平成25年9月30日	助教(病院)	松本 敦史	辞職
平成25年9月30日	助教(病院)	高橋 誠司	辞職
平成25年9月30日	助教(病院)	小渡 健司	辞職
平成25年9月30日	助教(病院)	相澤 知美	辞職
平成25年9月30日	助教(病院)	鈴木 裕一朗	辞職
平成25年9月30日	助教(病院)	脇屋 太一	辞職
平成25年9月30日	助教(病院)	杉山 尚樹	辞職
平成25年9月30日	助教(病院)	伊東 麻美	辞職
平成25年9月30日	助手(医)	坂本 有希	辞職
平成25年9月30日	助手(病院)	木村 智美	辞職
平成25年9月30日	助手(病院)	田中 芳美	辞職
平成25年9月30日	助手(病院)	澤田 匡宏	辞職
平成25年9月30日	助手(病院)	野村 亜南	辞職

---

## ■ 主要日誌

- 9月1日 緊急被ばく医療人材育成プロジェクト「現職者研修」(8月31日～)
- 2日 役員会
- 8日 2013年度弘前大学シニアサマーカレッジ(～13日)
- 9日 役員懇談会
- 10日 教育研究評議会
- 11日 学長定例記者会見
- 17日 男女共同参画推進室 第6回講演会  
メーン州立大学表敬訪問
- 19日 研究委員会
- 20日 弘前大学高大連携公開講座修了証書授与式
- 24日 第8回学生相談を考える会
- 25日 役員懇談会  
教育委員会
- 26日 平成25年度第2回弘前大学科研費獲得スキル向上セミナー
- 30日 平成25年度秋季学位記授与式  
役員会  
平成25年度弘前大学科研費説明会

---

## ■ 学内規則

(平成25年9月3日制定)

### ○弘前大学組織評価実施要項（平成25年度実施分）

平成25年度に実施する組織評価に際し、評価資料、評価方法及び評価基準等の具体的な事項を定めるため、上記の要項を制定した。

(平成25年9月25日改正)

### ○国立大学法人弘前大学教員業績評価実施要項

以下の理由により、上記の要項の一部を改正した。

- ①平成24年度に教育推進機構を設置したことに伴い、同機構会議及び関連する会議等への出席について、平成25年度に実施する教員業績評価における管理運営分野の評価項目として新たに加える。
- ②委員会等の名称変更等に伴い所要の改正を行う。

弘前大学学報第114号

弘前大学総務部広報・国際課  
036-8560 弘前市文京町1  
電話 (0172)36-2111